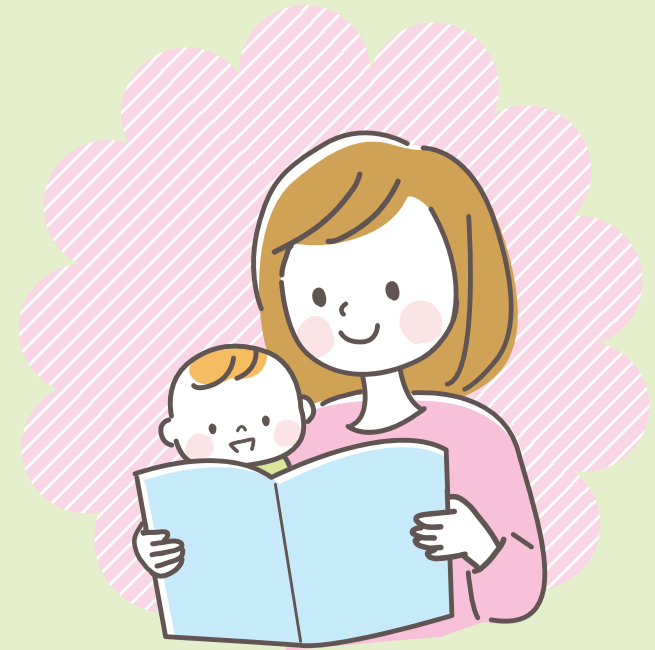


赤ちゃんと楽しみたい
絵本ガイド

令和2年度 改訂版



広島県読書推進運動協議会

はじめに

赤ちゃんに絵本をと聞くと、「まだ早いのでは」と思う方もあるかもしれませんが。しかし、乳幼児期の子供にとって絵本を読んでもらう時間は、優しい声で自分に向けて話しかけてもらう心安まるひとときです。

人の温もりを感じながら様々な言葉を聞くことで、赤ちゃんの中に育まれていくものは、きっとたくさんあることでしょう。

まずは、赤ちゃんに絵本を「読む」というよりも、絵本を通して一緒にリラックスする時間と捉えてみてはいかがでしょうか。

広島県読書推進運動協議会では、平成18年度に、『えほんはじめまして 0・1・2歳児向けあかちゃんと楽しむ絵本ガイド』を作成し、絵本をどのように選んだらよいか迷っている保護者の参考にしていただけるよう、絵本50冊の作品の内容を紹介しました。

発行から5年後の平成23年度に、新しい絵本を加えて解説を全面的に見直し、標題を『赤ちゃん向け絵本ガイド』と改めて刊行しました。平成27年度には、この内容に新しい絵本を加え、『赤ちゃんと楽しみたい絵本ガイド』として発行しました。これらの絵本ガイドは、保育所・幼稚園等の関係者や市町立図書館職員、読書活動ボランティアといった方々に好評をいただきました。

この度は、新たな試みとして、平成27年度以降に発行された赤ちゃん向けの絵本の中から、赤ちゃんと読み手が気軽に楽しめる絵本7冊を加えて発行することとしました。

この絵本ガイドが、赤ちゃんと絵本を結ぶ一つのきっかけとなるとともに、子供の読書活動の推進につながることを期待しています。

令和3年3月

広島県読書推進運動協議会
会長 神田浩二

目 次

はじめに	1
目次	2
この本を御覧いただく前に	2
「音」の絵本	3
「生活」の絵本	7
「遊び」の絵本	13
「物」の絵本	19
「物語」の絵本	26
赤ちゃん絵本についてのQ & A	30
広島県内公共図書館等一覧	34
索引	35

この本を御覧いただく前に

- 本書に収録した絵本71冊を、次のテーマに分類しました。
 - 「音」の絵本
言葉の響きやリズムを楽しむ絵本
 - 「生活」の絵本
日常生活を描いた絵本
 - 「遊び」の絵本
歌や遊びを描いた絵本
 - 「物」の絵本
身の回りの物を描いた絵本(「食べ物」, 「動物」, 「乗り物」の絵本)
 - 「物語」の絵本
ストーリー性のある絵本
- 本の配列は、テーマごとに、書名の50音順となっています。
- 図書についての事項は、書名、編著者名、出版社名、出版年(初版)の順に記載しました。
- 索引は、書名の50音順となっています。

「音」の絵本

言葉の響きやリズムを楽しむ絵本。

言葉を覚えたり、話したりする前の赤ちゃんでも楽しめる絵本です。



あかちゃんのおと

みやにしたつや／作絵 金の星社 2007

「あかちゃんのおと」って、どんな音? 「べろべろべろ」「びりびりびり」「かちかちかちかちか」…。さて、何をしている音でしょうか。

はじめての絵本たいむシリーズの一冊。笑顔のかわいい赤ちゃんが、いろいろな音を出す様子が描かれています。



くろねこかあさん

東君平／さく 福音館書店 1990

くろねこかあさんのおなかから生まれたのは、しろねこが三匹とくろねこが三匹。かあさんは、六匹のこねこを大切に育てます。

「くろねこかあさん あかちゃんうんだ しろねこさんびき おちちをのんだ」…。節をつけて読みたくなるリズムのある文章です。



ゴブゴブ ゴボゴボ

駒形克己／さく 福音館書店 1999

「ぶく ぶく ぶくん」「ど ど どおーん」「ざぶ ざぶ ざぶん」等、水を連想させる音が、たくさん載っています。カラフルな丸い形と、音だけで構成された絵本です。

擬音は、読み方次第でイメージが膨らみます。各ページに開いている丸い穴に、指を入れて遊ぶこともできます。



ぼんちんぱん

柿木原政広／作 福音館書店 2014

「ぱんぱんしょくぱんぱんちんぱん」。おいしいそうな食パンの真ん中ををちぎって穴を空けると、まるでにっこり笑った人の顔のようです。あんぱんもロールパンもフランスパンも「ちぎちぎぱっぱでぼんちんぱん」。

一つの見開きに、パンが一つ。香ばしくてやわらかそうなパンと、繰り返される「ぼんちんぱん」のリズムが楽しい絵本です。



じゃあじゃあびりびり

松井紀子／作 偕成社 1983

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「みず じゃあ じゃあじゃあ」。赤ちゃんにとって身近な物の、音の繰返しが楽しい絵本です。

14cm×14cmのミニサイズの絵本で、持ち歩くのにも便利です。



ぽんぽんポコポコ

長谷川義史／作絵 金の星社 2007

「ぼんぼん」「ポコポコ」おなかをたたいているのは、たぬきさん。ごりらさんに、かえるさんも「ぼんぼん」「ポコポコ」。赤ちゃんのおなかも、「ぼんぼん」「ポコポコ」したら、「ないない」しましょう。

おなかの部分だけをクローズアップしたページには、それぞれの動物を想像させるヒントが描かれています。繰り返される音に変化をつけて読むと、作品の楽しさが伝わります。



たんたんぼうや

かんざわとしこ／ぶん、やぎゅうげんいちろう／え 福音館書店 1998

たんたんぼうやが歩いていくと、いぬとひよこは、「たんたんたん」、おさるは「きゃっきゃっ」とついてきます。たんたんぼうやと動物たちの、にぎやかで楽しい散歩のお話です。

「あとから だれかも たんたんたん」。拍子を感じながら、テンポよく読みましょう。次々に出てくる動物たちの鳴き声や格好をまねして遊ぶのも楽しいでしょう。



まり

谷川俊太郎／文、広瀬弦／絵 クレヨンハウス 2003

地面の上に「まり」がひとつ。「ころん」と動き出し、「ころころ」ころがって、「ぱしっ」と棒に打たれて、「ひゅーん」と飛んでいきます。

谷川俊太郎さんの赤ちゃん絵本には、『んぐまーま』や、『ぼばーべぼびぱっぷ』、『とこてく』(全てクレヨンハウス)等があります。



もけらもけら

山下洋輔／ぶん、元永定正／え、中辻悦子／構成 福音館書店 1990

「ころ もこ めか」「もけけ け け け」「しゃばた しゃばた しゃばた ばたさ」。不思議な音の連続です。

勢いをつけて読むと、音楽のように聞こえます。ジャズ・ピアニストの山下洋輔さんとモダンアートの第一人者元永定正さんの合作です。



もこもこもこ

谷川俊太郎／作、元永定正／絵 文研出版 1977

「しーん」。「もこ」。何かが膨れ上がって、「ふんわふんわ」飛んで…。ユニークな形と音が、楽しい絵本です。ちなみに、最後の「もこ」は、絵本カバーの下に隠れています。

元永定正さんの作品には、『ころころころ』や、『がちゃがちゃどんどん』（共に福音館書店）等もあります。



りんごがころん

中川ひろたか／文、奥田高文／写真 ブロンズ新社 2009

真っ赤に熟れたおいしそうなりんごの写真。次のページには、「ころん」と転がりりんごが一つ。ケチャップが「ぐにゅ」となったり、おもちが「ぶく〜」となった決定的な瞬間を捉えた写真も、目をひきます。

1ページに、「物」は一つしか載っていませんが、じっくり見せてあげると、いろいろなことに気付くはず。 「物」の動きと、それにぴったりの音の組合せを味わってみましょう。

「生活」の絵本

日常生活を描いた絵本。

朝、起きてから、夜眠るまで、いろいろなことを体験する赤ちゃんが出てくる、親しみやすい絵本です。



いいこねんね

内田麟太郎／ぶん、長谷川義史／え 童心社 2015

さるのかあさんやいぬのとうさんが、「いいこねんね」と歌うと、赤ちゃんは安心しきった表情で眠りにつきます。

体を寄せ合って眠る親子の寝顔は、本当に気持ちよさそうです。

少しにじんだ淡い色で描かれた絵に、流れるようなフレーズが繰り返されます。優しくあやしながら読みたくなる絵本です。



いたいよ いたいよ

まつおかたつひで／さく・え ポプラ社 2009

石につまづいて、転んでしまったかえるやだんごむしや女の子。みんな、「いたいよ」と大泣きをしています。

でも、「おお、かわいそう いたいよ いたいよ」と、よしよししてもらおうと…。

動物たちが流しているたくさんの涙を見ると、自分のことのように、「痛そう。」と共感することでしょう。



おててがでたよ

林明子／さく 福音館書店 1986

頭からすっぽりと服をかぶった赤ちゃん。おててが「ぱっ」と出て、「ぬー」と頭が出て…。おかおやあんよがみんな出てくるまで、赤ちゃんは頑張ります。

「おてて」「あたま」「おかお」…。着替えながら、一つ一つ確認していく様子を見ると、体の名前に興味を持つきっかけになるかもしれません。



くつつあるけ

林明子／さく 福音館書店 1986

赤ちゃんのくつが、一人で散歩にお出かけ。一生懸命歩いて、かけて、転んでもまた起きて…。あんよを始めた赤ちゃんの姿が目浮かぶようです。

くつつあるけのほんシリーズ。他に『おててがでたよ』や、『きゅっきゅっきゅっ』、『おつきさまこんばんは』があります。



おはよう

なかわりえこ／さく、やまわきゆりこ／え グランママ社 1986

朝です。おひさまは歯を磨いて、顔を洗って、パッチリ目があいたら、「みんなおはよう」と挨拶をします。みんなもおひさまを見てにっこり。

同じ作者が描いた『おやすみ』（グランママ社）も、併せて御覧ください。



くつついた

三浦太郎／作・絵 こぐま社 2005

きんぎょさんときんぎょさんが「くつついた」。あひるさんとあひるさんが「くつついた」。お母さんと私のほっぺが「くつついた」。最後はお父さんと3人で、「くつついた」！

赤ちゃんとおおをくつつけたり、ぎゅっと抱きしめたりとスキンシップを楽しみながら読むこともできます。



お風呂でちやぷちやぷ

松谷みよ子／文、岩崎ちひろ／絵 童心社 1970

「あひるちゃん」はどこに行くのでしょうか？タオルを持って、せっけん持って…。「はやくおいでー」とぼくを呼んでいます。ぼくも急いでお風呂に入る支度をして…。

お風呂に入るのが楽しみになりそうなこの絵本は、松谷みよ子あかちゃんの本シリーズの一冊です。



だっこして

にしまきかよこ／作 こぐま社 1995

「だっこして」とカンガルーの赤ちゃんやひよこの坊やがせがむと、お父さんやお母さんがだっこしてくれそうです。

にしまきかよこあかちゃんの本シリーズ。他に『なかよしだあれ』や、『ないているこだあれ』、『こんにちはさようなら』があります。



ちいさなうさこちゃん

ディック ブルーナ／ぶん・え, 石井桃子／訳 福音館書店 1964

おなじみ「ちいさなうさこちゃん」が生まれた時のお話です。

ある日、うさこちゃんのお母さんのところに、天使がやって来て…。

ディック・ブルーナさん独特の鮮やかな色彩が美しい絵本です。赤ちゃんが最初に出会うストーリー性のある絵本としてもお薦めです。



どんどこももんちゃん

とよたかずひこ／さく・え 童心社 2001

もも色のお肌をしたももんちゃんは、「どんどこどんどこ」急いでいます。そんなに急いで、一体どこへ行くのでしょうか。

たくましいももんちゃんが活躍するももんちゃんあそぼうシリーズには、『すりすりももんちゃん』や、『ももんちゃんえーんえーん』等があります。



つかんでぱっくん

わかやましずこ／さく 童心社 2008

ぞうの長い鼻が伸びてきて、真っ赤なりんごをつかんで、ぱっくん！おいしそうに食べています。次はバナナです。長いしっぽで狙っているのは誰でしょうか？

動物が、それぞれのやり方で食べ物をお口にする様子が描かれていて、食べることの楽しさを感じることができる絵本です。



ねないこだれだ

せなけいこ／さく・え 福音館書店 1969

「こんなじかんにおきてるのはだれだ？」。闇夜に光っているのは、ふくろうの目？それとも、どろぼう？

夜中に遊んでいると、怖いことが起こるかもしれませんよ。

いやだいやだの絵本シリーズ。他に、『にんじん』や、『もじゃもじゃ』、『いやだいやだ』があります。



どうすればいいのかな？

わたなべしげお／ぶん, おおともやすお／え 福音館書店 1980

くまくんが服を着ようとしています。けれど、シャツをはいたり、パンツを頭にかぶったりと、失敗してばかり。くまくんは、一人で服を着ることができるでしょうか。

「どうすればいいのかな？」と、くまくんと一緒に考えてみましょう。くまくんの絵本シリーズの一冊。



ねむたいねむたい

やぎゆうげんいちろう／さく 福音館書店 2018

「ねむたいねむたい なすびのこ」「なすびのこはねーたーよー」。なすびの他にも、ばなな、かぼちゃ、そらまめの子供たち。眠そうに目をつむった子供たちは、ころんと横になって眠りに落ちていきます。

繰り返される「ねむたいよー」「ねーたーよー」を節を付けて読むと、赤ちゃんにも心地よく響くことでしょう。



パンツのはきかた

岸田今日子／さく、佐野洋子／え 福音館書店 2011

トイレから出てきたぶたさんが、ゆっくりパンツをはいていきます。「はじめにかたあし」。「それからもうかたつぼ」。一生懸命パンツをはこうとするぶたさんを、応援したくなる絵本です。

ぶたさんの仕草を、1つずつ確かめるように読んでもいいし、最後のページに載っている楽譜に合わせて、歌いながら読むこともできます。



みんなうんち

五味太郎／さく 福音館書店 1977

いろんな動物のいろんなうんち。形、色、においもそれぞれ。「いきものはたべるから みんなうんちをするんだね」。

子供たちの大好きな「うんち」をテーマにした科学絵本です。動物による生態の違いを、さりげなく紹介しています。



よ・だ・れ

小風さち／文、及川賢治／絵 福音館書店 2017

まんまるい顔をしたあーちゃん。笑ったり、怒ったりするとよだれが出ます。「たあ たあ たあ」、「ぶくぶく ぶう」。そして、最後のページにはあーちゃんの成長を感じさせるうれしい発見が…。

「ぶうい ぶうい」「れる れる れる」など、赤ちゃんの喜怒哀楽やよだれが出る様子が、臨場感溢れる擬音で表現されています。

「遊び」の絵本

歌や遊びの絵本。

大人と赤ちゃんが、一緒に楽しみながら読みたい絵本です。



あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん

小林衛己子／編、大島妙子／絵 のら書店 1998

「だーるまさん だーるまさん」「おつむてんてん」など、赤ちゃんとお母さんと一緒に遊べる楽しい「あそびうた」を掲載しています。

赤ちゃんを卒業したら、『子どもとお母さんのあそびうたえほん』（のら書店）もあります。



あかちゃんのうた

松谷みよ子／著、岩崎ちひろ／絵 童心社 1971

おむつを替えるときの歌、お散歩の歌、お風呂に入るときの歌など、赤ちゃんとお母さんで過ごす口ずさみたい歌が収められています。

「あとがき」に、松谷みよ子さんは「どうぞ、おかあさんの言葉で、声で、あかちゃんにお話をしたり、うたったり、あそんであげたりしてください。」と書かれています。



あがりめさがりめ

ましませつこ／絵 こぐま社 1994

「げんこつやまのたぬきさん」「ちょちちょちあわわ」などのわらべ歌や、手遊びが紹介されています。

ましませつこさんの作品には、『あんたがたどこさ』（こぐま社）や、『うめぼしさんのうた』、『わらべうた』（共に福音館書店）等もあります。



いないいないばあ

松谷みよ子／文、瀬川康男／絵 童心社 1967

赤ちゃんが大好きな「いないいないばあ遊び」の絵本。

いろいろな動物が手で顔を隠しています。ぱっとページをめくると、にこにこ笑顔で「ばあ」します。

昭和42年に出版されたロングセラー。最後の「のんちゃんがない いない いない ばあ」の部分は、「のんちゃん」の代わりに聞いている子どもの名前を入れて読むこともできます。



うたえほん

つちだよしはる／え グランママ社 1988

「ゆりかごのうた」や「おかあさん」等、赤ちゃんをだっこしたりあやしたりしながら歌ってあげたい童謡やわらべ歌が26曲載っています。

全ての歌に楽譜がついています。『うたえほん2』や、『うたえほん3』もあります。



かおかおどんなかお

柳原良平／作・絵 こぐま社 1988

人の顔は、「めがふたつ」で、「はなはひとつ」、「くちもひとつ」です。シンプルな形で表現された楽しい顔、悲しい顔、笑った顔…。

表情と共に変わる顔の色にも注目です。

赤ちゃんと一緒に、絵本の表情を真似てみながら読むのも楽しいでしょう。



きんぎょがにげた

五味太郎／作 福音館書店 1982

水槽から小さなきんぎょが逃げて、お部屋のあちこちに隠れます。

きんぎょは「どこ」？

五味太郎さんの「探す」絵本は、他に『たべたのだあれ』や、『かくしたのだあれ』（共に文化出版局）等があります。



さよならさんかくまたきてしかく

松谷みよ子／文、上野紀子／え 偕成社 1979

「しかくはおふとん」「おふとんはねんね」…とテンポよくつながっていく言葉遊びの絵本。次は何かな？と想像しながら、ページをめくるのが楽しい絵本です。

松谷みよ子あかちゃんのわらべうたシリーズ。最後は「おやすみなさい」、「みんなねんね」で終わるので、寝る前の一冊としてもお薦めします。



たまごのあかちゃん

かんざわとしこ／ぶん、やぎゆうげんいちろう／え 福音館書店 1993

「たまごのなかでかくれんぼしてるあかちゃんはだあれ？でておいでよ」のかけ声で、いろいろな動物が生まれてきます。元気いっぱいの赤ちゃんの様子がかわいらしい絵本です。

「たまごのなか」から何の赤ちゃんが出てくるか、一緒に当てっこしながら読みましょう。



ぴょーん

まつおかたつひで／作・絵 ポプラ社 2000

かえるが、うさぎが、かたつむりが?! いろいろな生き物たちが、縦開きのページをめくると「ぴょーん」と勢いよくジャンプします。「ぴょーん」の繰返しが楽しい絵本です。

いろいろな動物の「ぴょーん」を、変化を付けて読んでみましょう。赤ちゃんも一緒に「ぴょーん」としたがるかもしれません。



だるまさんが

かがくいひろし／さく ブロンズ新社 2008

だるまさんが、「どてっ」「ぶしゅーっ」「ぶっ」。だるまさんのユニークな顔と動きが楽しい絵本です。

いろいろな音を勢いよく読むと、赤ちゃんも大喜びするでしょう。かがくいひろしのファーストブックシリーズには、他に『だるまさんの』や、『だるまさんと』があります。



へっこぷっとたれた

こがようこ／構成・文、降矢なな／絵 童心社 2018

「おいっちに おいっちに」と、きのこが歩いています。ページをめくると、「へっこ」(おなら)が「ぷっ!」と出ました。

音の響きが楽しいわらべ歌の絵本です。

はずむように読んで、赤ちゃんに触れ合いながら一緒に遊べる絵本です。わらべうたでひろがるあかちゃん絵本シリーズで『ねーずみねーずみどーこいきゃ?』『おせんべやけたかな』もあります。



でてこいでてこい

はやしあきこ／さく 福音館書店 1998

「だれかかくれてるよ でてこいでてこい」。動物たちは、跳ねたり飛んだりして、いきいきと飛び出していきます。

色紙を切り抜いたコントラストのはっきりした絵は、赤ちゃんにも分かりやすいでしょう。



ぺんぎんたいそう

齋藤 健／さく 福音館書店 2016

「ぺんぎんたいそう はじめるよ」「いきをすって～」「はいて～」「くびをのばして～」「ちぢめて～」。大きいペンギンと小さいペンギンが横に並んで、揃って体を動かします。

背景は明るい黄色一色で描いてあり、ペンギンの体の形を際立たせています。ペンギンのまねをして、一緒に体操をしたくなる絵本です。



ぼぼんぴ ぼんぼん

松竹いね子／文、ささめやゆき／絵 福音館書店 2012

「たろうくんの おへそは どーこ？」
「ここ」。たろうくんが笑顔で指さしたのは「ぼんぼん」の真ん中です。おへそを出したおさるさんやくまさんたちと向かったのは気持ちのよさそうなお風呂でした。

裏表紙に描かれたたろうくんのように、シャツをめくり上げて自分のおへそを確かめてみたくなることでしょう。「ぼぼんぴ ぼんぼん」の音の響きも楽しい絵本です。



まるてん いろてん

中辻悦子／さく 福音館書店 2015

赤いまるてん、青いまるてん、黄色や緑色のまるてん…。丸は一列に並んだり、人の顔のようになり、いろいろな形に見えてきます。

真っ白なページに鮮やかな色の丸が美しく映えます。いろいろな「色」に関心を持つきっかけになるかもしれません。

「物」の絵本

身の回りの物を描いた絵本。

「食べ物」「動物」「乗り物」と、赤ちゃんのよく知っている物がたくさん出てきます。

食べ物



いちじく にんじん

大阪YWCA千里子ども図書室／案、こんもりなつこ／絵 福音館書店 2012

おいしそうな野菜や果物が1ページに一つずつ載っています。ひげの生えたごぼうやトゲのあるきゅうり、大きなとうがんなど、思わずさわってみたくするような絵本です。

「いちじく、にんじん、さんしょに、しいたけ…。」昔懐かしいわらべうたのように節を付けて歌ったり、一つ一つの食べ物をじっくり眺めたりといろいろな楽しみ方ができます。



くだもの

平山和子／さく 福音館書店 1981

ももやぶどう、いちごにバナナなど子どもの大好きな果物が、本物そっくりにみずみずしく描かれています。

「さあどうぞ。」と絵本を差し出してあげると、赤ちゃんも思わず手を伸ばそうとするかもしれません。



しろくまちゃんのホットケーキ

わかやまけん／作 こぐま社 1972

しろくまちゃんがお母さんと一緒にホットケーキを作ります。作ったホットケーキを友達と一緒に食べて片付けをするまでの様子が、生き生きと描かれています。

こぐまちゃんえほんシリーズの一冊です。



にんじん

せなけいこ／さく・え 福音館書店 1969

「にんじんのすきなこだあれ」？うまやきりん、さるやかばも、おいしそうに大好きなにんじんを食べています。

動物たちの表情を見ていると、にんじんの苦手な子も、思わず笑顔になりそうです。

ちぎり絵で描かれた、温かみのある絵本です。



まるくておいしいよ

こにしえいこ／さく 福音館書店 1999

大きなオレンジ色の丸や、たくさんの黄色の丸。いろいろな大きさのシルエットを示して、「これなあに」と問いかけます。

正解は、みんな、丸くておいしい食べ物です。

身の回りにある丸いものを探してみたくなる絵本です。「形」に興味を持つきっかけになるかもしれません。0、1、2、えほんシリーズの一冊です。

動物



いぬがいっぱい

グレース・スカール／さく、やぶきみちこ／やく 福音館書店 1986

おりこうないぬやいたずらないぬやおひるねをするいぬたち。ダルメシアン等外国のいろいろないぬが登場します。

同じ作者が描いた、いろいろな猫が出てくる『ねこがいっぱい』もあります。



ぎゅっ

ジェズ・オールバラ／作・絵 徳間書店 2000

ひとりで散歩をしていたさるのジョジョくん。そらやカメレオン、へびの親子がみんな「ぎゅっ」としているのを見て、ママが恋しくなりました。

「ぎゅっ」と抱き合う喜びや温もりが伝わってきます。

ジョジョくんが活躍する絵本には、『たかいたかい』や、『やだ!』、『あそぶ!』もあります。



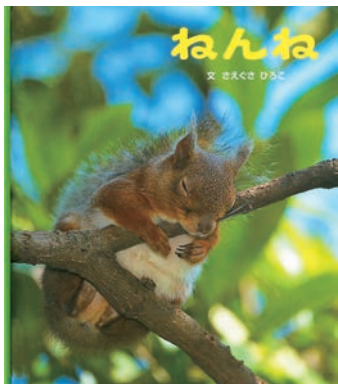
こねこがにゃあ

ひろのたかこ／さく 福音館書店 2020

お母さんねこが呼ぶと、かごや紙袋、タオルの中から、「にゃあ」と子ねこが顔を出しました。

1匹、2匹…。隠れていた子ねこは、お母さんのところに集まってきました。

物の隙間に、隠れている子ねこの小さい耳や手が見えています。どこにいるのか当てっこするのも楽しい絵本です。



ねんね

さえぐさひろこ／文，細川佳／デザイン アリス館 2004

穴の中で一緒に眠る子ぎつねの兄弟。お母さんにくっついて眠るライオンの子ども。いろいろな動物が気持ちよさそうに眠っている姿を集めた写真絵本です。

さえぐさひろこさんの写真絵本には、『いいおかお』や、『おしり』（共にアリス館）があります。



もうおきるかな？

まつのまさこ／ぶん，やぶうちまさゆき／え 福音館書店 1998

ねこやいぬやりすたちが、親子で気持ちよさそうに眠っています。

伸びをしたり、あくびをしたりして起き出す様子を描いた絵本です。

毛の一本一本まで丁寧に描かれたやぶうちまさゆきさんの動物絵本には、『どうぶつのおかあさん』や、『どうぶつのおやこ』（共に福音館書店）等、たくさんあります。



わんわんにゃーにゃー

長新太／さく え，和田誠／しあげ 福音館書店 2008

いぬとねこが向かい合って「わんわんにゃーにゃー」となっています。ところが、突然、ねこがいぬの口の中に、すっぽり入ってしまいました！
ねこは、大丈夫でしょうか？一体、この後どうなるのでしょうか…。

平成17年に亡くなった長新太さんの遺したラフスケッチを、イラストレーターの和田誠さんが仕上げた絵本です。奇想天外な展開に、最初はびっくりするかもしれませんが、ナンセンスな2匹のやりとりを見ていると、なんだか楽しくなってくる不思議な絵本です。

乗り物



がたんごとんがたんごとん

安西水丸／さく 福音館書店 1987

「がたんごとん がたんごとん」と汽車がやってきます。「のせてくださいー」と汽車を待っているのは、ほ乳瓶やカップ、スプーンたちです。

「がたんごとん」をリズム良く読むと、汽車がやってくる楽しい雰囲気が伝わります。汽車に乗って海に遊びに行く『がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん』もあります。



くりんくりんごーごー

佐々木マキ／さく 福音館書店 2008

一輪車に乗って「くりんくりん」とやってきたのは、くまさんでした。「どるんどるん」と勇ましい音を立ててオートバイでやってきた動物は？

0. 1. 2. えほんシリーズの一冊。いろいろな乗り物の音の表現を楽しみましょう。



のりものいっぱい

柳原良平／作・絵 こぐま社 2003

自動車や電車、船、飛行機と、「のりものいっぱい」大集合。いろいろな乗り物をシンプルな切り絵で描いています。

乗り物に付いている丸い目に、自然と親しみがわきます。



バスがきました

三浦太郎／さく え 童心社 2007

しっぽの生えたバス停に、「チューチュー」と、ネズミの形のバスがやって来ました。耳のついたバス停や、たてがみのあるバス停もあります。

次は、どんなバスがやって来るのでしょうか。

バスや動物や道路まで淡い色で表現された絵本です。



ぶーぶーじどうしゃ

山本忠敬／さく 福音館書店 1998

パトロールカーや救急車、宅配便の車等、いろいろな自動車が、それぞれ見開き2ページを使って、大きく描かれています。

本物の車のそばには、おもちゃの自動車に乗る子どもが描かれていて、自分も運転したくなることでしょう。



バルンくん

こもりまこと／さく 福音館書店 2003

スポーツカーのバルンくんは、「バルバルバルーツ」とうねうね道も坂道も軽快に抜けて、サーキット場へと向かいます。

バルンくんの活躍を描いた絵本は他に『バルンくんとおたすけ3きょうだい。』や、『バルンくんとともだち』があります。



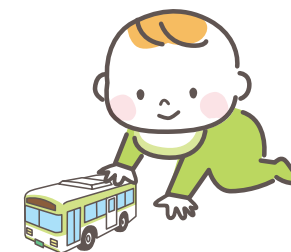
ひこうき

バイロン・バートン／さく え、こじまもる／やく 金の星社 1992

高い空を飛んでいるジャンボジェット機。中には、お客さんがいっぱい乗っています。海を越え町の上を飛んで、空港に着きました。

他に、「すいじょうひこうき」や「ヘリコプター」も載っています。

バートンののりものえほんシリーズは他に、『でんしゃ』や、『ふね』、『とらっく』があります。



「物語」の絵本

ストーリー性のある絵本。

言葉を少しずつ覚えて、「おはなし」も聞くことができるようになった頃に、読んであげたい絵本です。



あーそーぼ

やぎゆうまちこ／さく 福音館書店 2016

女の子が「あーそーぼ」とぶたこちゃんを誘うと、お返事は「あーとーで」。今はごはんのまっ最中でした。

一緒にごはんを食べた2人は、さるのきっきーくんを誘いに行きます。

わらべ歌の「ひとやまこえて」から生まれた絵本です。「あーそーぼ」「あーとーで」の言葉の掛け合いが楽しく、子供が友だちと一緒に遊ぶ楽しさが伝わってきます。



おおきなかぶ

A. トルストイ／再話、内田莉紗子／訳、佐藤忠良／画 福音館書店 1962

おじいさんが育てたかぶは、大きくなり過ぎて、一人では抜けません。おじいさんは、おばあさんを呼んできます。「うんとこしょ どっこいしょ」。それでもまだ抜けません。

かぶを引っ張る度に繰り返される「うんとこしょ どっこいしょ」。一緒に声を出して読むと、自分も絵本の登場人物になったような気持ちになることでしょう。



おつきさまこんばんは

林明子／さく 福音館書店 1986

暗い夜、屋根の上で2匹のねこがお月様を待ちます。やがて、月がぼっかり浮かび、「おつきさま こんばんは」と御挨拶。

ところが、雲が出てきて、お月さまは隠れてしまい…。

裏表紙の表情豊かなお月様にも、注目したい絵本です。



おやすみなさいコッコさん

片山健／さく・え 福音館書店 1988

夜になって、空の雲も、池の水も、おふとも、みんな眠ったのに、まだ眠らないコッコさん。「おやすみなさい コッコさん」と、月が静かに語りかけます。

コッコさんの出てくる絵本には、『コッコさんのおみせ』や、『コッコさんとあめふり』、『コッコさんのかかし』等もあります。



かばくん

岸田衿子／作、中谷千代子／絵 福音館書店 1966

動物園の朝。寝ているかばに、男の子が「おきてくれかばくん」と声をかけます。「おやすみ」の時間までの動物園の一日を、かばの視点で描いています。

昭和37年に発行されたロングセラーです。最後まで読んだら、表紙と裏表紙を広げて、大きなかばくんの姿を見せてあげてください。



ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか／さく・え、なかのまさたか／レタリング 福音館書店 1977

お天气がいい日。ごきげんで出かけたぞうくんは、かばくんやわにくんかめくを、自分の背中に乗せて一緒に散歩します。最後の「どっぼーん」のシーンが楽しい絵本です。

「うん うん、おもいな」というぞうくんのセリフを、いかにも重そうに読むと、お話のおもしろさがよく伝わります。『ぞうくんのあめふりさんぽ』や『ぞうくんのおおかせさんぽ』、『かめくんのさんぽ』もあります。



はらぺこあおむし

エリック・カール／作、もりひさし／訳 偕成社 1976

たまごからかえったあおむしは、おなかがぺこぺこ。毎日、りんごやいちご、ケーキとたくさん食べて…。

最後の、画面いっぱいに羽根を広げたチョウのシーンは圧巻です。

鮮やかな色で描かれた食べ物と「あおむし」が、印象に残ります。「あおむし」が食べたところは、ページに穴が空いていて、指を入れて遊ぶことができるようになっています。



ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン／さく、いわたみみ／やく ほるぶ出版 1978

ちびゴリラのちびちびは、お母さんやお父さん、ジャングルの動物たちに愛されていました。

木に登ったり、水浴びしたり、いたずらしたり…。ちびちびの子どもらしい行動がほほえましい絵本です。

「みんな ちびちびが だいすきでした」のフレーズは、読む人の心を暖かくします。

子どもの成長を見守り、お誕生日をお祝いするお話です。

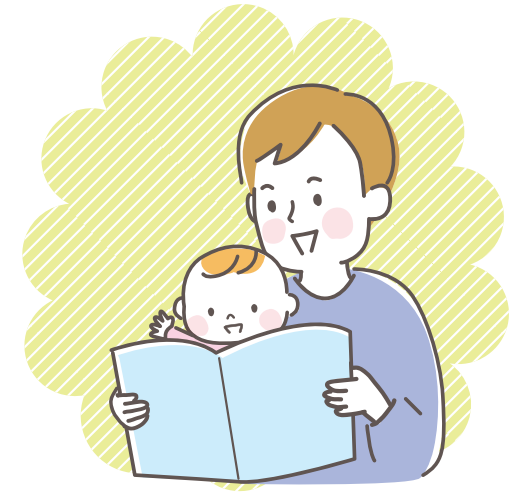


なにをたべてきたの？

岸田衿子／文、長野博一／絵 佼成出版社 1978

おなかをすかせたしろぶたくんが、りんご、レモン、メロンと次々に食べていくと、おなかに色がついていきます。最後に食べた、意外なものとは…。

しろぶたくんが、いろいろな物を食べては見せる、微妙な表情の違いにも注目です。



～赤ちゃん絵本についてのQ & A～

Q 何歳くらいから、読んであげればいいのでしょうか？

A 赤ちゃんが、絵本に関心を示し始める時期については、4か月から10か月等いろいろな説があり、個人差もあるので、「いつから」と一律には言えません。「読んであげたい」と思ったときに、始めてみてはいかがでしょうか。

まずは、赤ちゃんの機嫌の良い時を選んで、ゆっくり、語りかけるように読んでみましょう。赤ちゃんにとっては、優しい声や温もりを感じる心地よいひとときです。初めのうちは、反応が返ってこないかもしれませんが、赤ちゃんと一緒に絵本の世界で遊ぶつもりで読んでいるうちに、興味を示してくれる時が来ることでしょう。

Q 絵本に全く興味がないみたいなのですが？

A 初めのうちは、落ち着いて最後まで聞くことができない赤ちゃんがほとんどです。絵本をなめたり、かじったり、放り投げたりする子もいるかもしれません。また、絵本を広げても、逃げ出したり、きょろきょろしたりして集中できないこともあるかもしれません。そんな時は、「本」よりも他に気になることがあるのかもしれないし、もっと自分に構ってほしいのかもしれません。無理をして、読み続ける必要はありません。赤ちゃんの状態に合わせて、関心を示してきたら、続きを読んであげるようにしましょう。

Q せっかく読んでいるのに、途中でページをめくってしまうのですが？

A 赤ちゃんにとって、絵本はおもちゃの一つのようなものです。赤ちゃんは、絵本の内容よりも、ページをめくることが自体が楽しいのかもしれませんが、自分の見たいページがあるのかもしれません。絵本は、最初から最後まで通して読まなくてはいけないというものではありません。赤ちゃんのペースに合わせて、開いたページの絵を見ながらお話ししたり、「次は何か？」と声をかけたりして、ゆったりした気持ちで一緒に楽しみましょう。

Q 同じ絵本ばかりを、何度も「読んで」とせがまれるのですが？

A 是非、読んであげてください。赤ちゃんは、読んでもらう度に、新しい発見をしているものかもしれません。また、次はこうなるということが分かっている、そのとおりになるのも、赤ちゃんにとってはうれしいことです。

「いろんな本を読んでもらいたい」という大人の気持ちも分かりますが、同じ絵本を何回も読むということは、その絵本が赤ちゃんにとって、それだけ魅力のあるものなのかもしれません。同じ絵本ばかり読むことは、読書の世界を狭めているのではなく、本を好きになるための大切な体験だと考えてみてはいかがでしょうか。

Q 「乗り物」の本にしか興味を示さないのですが？

A 特に男の子は、「乗り物」の本が大好きです。なかなかそれ以外のものに興味を持たないことも多いようです。図鑑や写真は、眺めるだけでも楽しいものですが、カタログ的な楽しみだけでなく、一緒にストーリーを作ったりするのもよいかもしれません。また、乗り物の登場する「おはなし」もたくさんありますので、そういった絵本を読んであげるともできます。

Q 是非「パパ」にも、絵本を読んでやってほしいのですが？

A パパに本を読んでもらうのは、ママとはまた一味違う、良さがあります。パパと赤ちゃんが過ごすひとときに、是非、絵本を楽しむ時間を加えてみてください。

パパが登場する絵本も、たくさんあります。

Q 絵本を読むと、字が早く覚えられますか？しつけにもいいのでしょうか？

A 絵本は、早期教育やしつけのための「教材」ではありません。いろいろな知識が絵本を読むことで身に付くこともあるかもしれませんが、赤ちゃんにとっては、絵本は、優しい声で、自分に話しかけてもらえるコミュニケーションの時間であり、温もりを感じるスキンシップの時間でもあります。一緒に絵本を楽しむことで育まれる心の安らぎは、何にも代えがたいものではないでしょうか。

Q 一日何冊くらいを目安に読めばよいのでしょうか？

A 「何冊読まなくては。」とか「何分読まなくては。」という基準はありません。好きなときに好きなだけ読んであげてください。赤ちゃんの状態に合わせて、おやすみ前や食事の後など、赤ちゃんの生活のペースに合わせて、絵本を読む習慣を少しずつつけていくというやり方もあります。

Q 赤ちゃん和絵本に関して、参考になる情報はありますか？

- A
- **ブックスタート (NPO ブックスタート)**
「ブックスタート」は、市区町村自治体が行う0歳児健診などの機会に、「絵本」と「赤ちゃん和絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動です。
 - **「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(広島県教育委員会)**
親同士が子育てを振り返り、学びあう中で、「自ら気づき」「自ら学べる」力を生み出すことを「ねらい」としたプログラムを用いて、県内各地で講座が開かれています。
赤ちゃんや小さい子供がいる家庭での読み聞かせ支援については、「おひざにだっこでおはなししましょう～絵本をひらいてみませんか？～」「おひざにだっこでおはなししましょう～読み聞かせ、どうしてる？～」等の親しみやすいワークシートを基に、ファシリテーター（学習活動を支援し促進する人）の進行により身近なエピソードを楽しく話合います。

Q どんな絵本を選べばよいのでしょうか？

A たくさんの絵本の中から、どれを選んでいいのか迷ったときには…。

● **読み継がれている絵本**

絵本を探す方法の一つに、「読み継がれている絵本」という視点があります。新しい「赤ちゃん絵本」もたくさん出版されていますが、時代を超えて子どもたちに支持されている絵本には、それだけの魅力を備えた作品が多くあります。

図書館には、長年読み継がれたたくさんの絵本があります。その中から選んでみては、いかがでしょうか。

また、図書館の職員に、絵本の選び方や読み方を相談していただくこともできますので、御利用ください。

● **ブックリスト・書評を参考に**

この「絵本ガイド」のように、図書館の職員や子どもの本の専門家たちが作成したおすすめ絵本のブックリストや書評が、たくさん出版されています。それらを参考にして選ぶのも一つの方法です。

● **実物を見て…。**

絵本選びの基本は、赤ちゃんの好きな本、そして大人が、是非読んであげたいと思う本です。書店や図書館で、いろいろな絵本の中から、気に入るものを、探してみましよう。

📖 **絵本を選ぶ時の参考になる本** 📖

『父母&保育園の先生おすすめ赤ちゃん絵本200冊：0歳・1歳・2歳の子どものがよるこぶ絵本』

絵本ナビ/監修、玄光社 2019

『100冊の絵本と親子の3000日』

福沢周亮、數中征代/編、三木みな子、村田光子、數中征代、吉田佐治子/著、教育出版 2014

『赤ちゃんが大好きな絵本』赤木かん子/著、加藤美穂子/著、ポーラスタア 2011

『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』徳永満理/著、かもがわ出版 2009

『赤ちゃんが喜ぶ読み聞かせ』徳永満理/著、フォーラム・A 2004

『赤ちゃんの本棚』ドロシー・バトラー/著、百々佑利子/訳、のら書店 2002

『わたしの絵本論：0歳からの絵本』松居直/著、国土社 1981

図書館は、赤ちゃんが絵本と出会うお手伝いをいたします。
お近くの図書館へ、是非お出かけください。

広島県内公共図書館等一覧

広島県立図書館	082-241-2299	三次市立三良坂図書館	0824-44-4506
広島市立中央図書館	082-222-5542	三次市立三和図書館	0824-52-3739
広島市こども図書館	082-221-6755	三次市立甲奴図書館	0847-67-3532
広島市立中区図書館	082-248-9300	庄原市立図書館	0824-72-1159
広島市立東区図書館	082-262-5522	庄原市立図書館西城分館	0824-82-2183
広島市立南区図書館	082-251-1080	庄原市立図書館東城分館	08477-2-5261
広島市立西区図書館	082-234-1970	庄原市立図書館口和分館	0824-87-2213
広島市立安佐南区図書館	082-879-5060	庄原市立図書館高野分館	0824-86-2944
広島市立安佐北区図書館	082-814-0340	庄原市立図書館比和分館	0824-85-3005
広島市立安芸区図書館	082-824-1056	庄原市立図書館総領分館	0824-88-3067
広島市立佐伯区図書館	082-921-7560	大竹市立図書館	0827-52-5338
広島市立佐伯区図書館湯来河野閲覧室	0829-40-4005	東広島市立中央図書館	082-422-9449
広島市まんが図書館	082-261-0330	東広島市立サンスクエア児童青少年図書館	082-424-3899
広島市まんが図書館あさ閲覧室	082-830-3675	東広島市立黒瀬図書館	0823-82-1101
呉市中央図書館	0823-21-3014	東広島市立福富図書館	082-435-3520
呉市広図書館	0823-71-7470	東広島市立豊栄図書館	082-432-3611
呉市昭和図書館	0823-34-1210	東広島市立河内こども図書館	082-437-1711
呉市川尻図書館	0823-87-3836	東広島市立安芸津図書館	0846-45-2335
呉市音戸図書館	0823-50-0020	はつかいち市民図書館	0829-20-0333
呉市倉橋図書館	0823-53-1872	はつかいち市民大野図書館	0829-54-1120
呉市安浦図書館	0823-84-3806	はつかいち市民さいき図書館	0829-72-1011
市立竹原書院図書館	0846-22-0778	安芸高田市立中央図書館	0826-42-2421
三原市立中央図書館	0848-62-3225	安芸高田市立八千代図書館	0826-52-7090
三原市立本郷図書館	0848-85-0703	安芸高田市立美土里図書館	0826-59-2120
三原市立久井図書館	0847-32-7138	安芸高田市立高宮図書館	0826-57-1803
三原市立大和図書館	0847-33-1115	安芸高田市立甲田図書館	0826-45-4311
尾道市立中央図書館	0848-37-4946	安芸高田市立向原図書館	0826-46-3121
尾道市立みつぎ子ども図書館「すくすく」	0848-76-3111	江田市市立江田島図書館	0823-42-1417
尾道市立因島図書館	0845-22-8660	江田市市立能美図書館	0823-45-0075
尾道市立瀬戸田図書館	0845-27-1877	府中町立図書館	082-286-3405
尾道市立向島子ども図書館「わくわく」	0848-44-0114	海田町立図書館	082-823-3215
福山市中央図書館	084-932-7222	熊野町立図書館	082-855-6710
福山市松永図書館	084-933-3770	坂町立図書館	082-886-3280
福山市北部図書館	084-976-4822	安芸太田町立図書館	0826-22-1213
福山市東部図書館	084-940-2575	安芸太田町立図書館筒賀分室	0826-32-2601
福山市沼隈図書館	084-987-5630	安芸太田町立図書館戸河内分室	0826-28-1966
福山市新市図書館	0847-52-5551	北広島町図書館	0826-82-3775
福山市かなべ図書館	084-962-5053	北広島町図書館芸北分館	0826-35-0070
府中市立図書館	0847-43-4343	北広島町図書館千代田分館	0826-72-2249
府中市立図書館上下分室	0847-62-8805	北広島町図書館豊平分館	0826-83-0020
三次市立図書館	0824-62-2639	世羅町世羅図書館	0847-22-1022
三次市立君田図書館	0824-53-7050	世羅町甲山図書館	0847-22-4515
三次市立布野図書館	0824-54-2288	世羅町せらにし図書館	0847-37-2511
三次市立作木図書館	0824-55-2610	神石高原町シルトピアカレッジ図書館	0847-82-2002
三次市立吉舎図書館	0824-43-4513	大崎上島文化センター情報プラザ・エル	0846-64-3055

(令和3年2月28日現在)

(各館により、開館日時やサービスの内容等が異なります。詳しくは、各図書館に直接お問い合わせください。)

索引

あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん 小林衛己子／編、大島妙子／絵	13
あかちゃんのうた 松谷みよ子／著、岩崎ひろ／絵	13
あかちゃんのおと みやにしたつや／作絵	3
あがりめさがりめ ましませつこ／絵	14
あーそーぼ やぎゅうまちこ／さく	26
いいこねんね 内田麟太郎／ぶん、長谷川義史／え	7
いたいよいたいよ まつおかたつひで／さく・え	7
いちじくになじん 大阪YWCA千里子ども図書室／案、ごんもりなつこ／絵	19
いないいないばあ 松谷みよ子／文、瀬川康男／絵	14
いぬがいっぱい グレース・スカール／さく、やぶさみちこ／やく	21
うたえほん つちだよしほる／え	14
おおきなかぶ A. トルストイ／再話、内田莉莎子／訳、佐藤忠良／画	26
おつきさまこんばんは 林明子／さく	27
おててがでたよ 林明子／さく	8
おはよう ながわりえこ／さく、やまわきゆりこ／え	8
おふろでちゃぷちゃぷ 松谷みよ子／文、岩崎ひろ／絵	8
おやすみなさいコッコさん 片山健／さく・え	27
かおかおどんなかお 柳原良平／作・絵	15
がたんごとんがたんごとん 安西水丸／さく	23
かばくん 岸田稔子／作、中谷千代子／絵	27
ぎゅっ ジェズ・オールバラ／作・絵	21
きんぎょがにげた 五味太郎／作	15
くだもの 平山和子／さく	19
くつつあるけ 林明子／さく	9
くつした 三浦太郎／作・絵	9
くりんくりんごーごー 佐々木マキ／さく	23
くろねこあさん 東君平／さく	3
こねこがにゃあ ひろのたかこ／さく	21
ごぶごぶごぼごぼ 駒形克己／さく	4
さよならさんかくまたきてしかく 松谷みよ子／文、上野紀子／え	15
じゃあじゃあびりびり 松井紀子／作	4
しろくまちゃんのほっとけーき わかやまけん／作	20
ぞうくんのさんぽ なかのひろたか／さく・え、なかのまさたか／レタリング	28
だっこして にしまきかやこ／作	9
たまごのあかちゃん かんざわとしこ／ぶん、やぎゅうげんいちろう／え	16

だるまさんが	かがくいひろし/さく	16
たんたんぼうや	かんざわとしこ/ぶん, やぎゆうげんいちろう/え	4
ちいさなうさこちゃん	ディック ブルーナ/ぶん・え, 石井桃子/訳	10
ちびゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタイン/さく, いわたみみ/やく	28
つかんでばっくん	わかやましづこ/さく	10
でてこいでてこい	はやしあきこ/さく	16
どうすればいいのかな?	わたなべしげお/ぶん, おおともやすお/え	10
どんどこももんちゃん	とよたかずひこ/さく・え	11
なにをたべてきたの?	岸田衿子/文, 長野博一/絵	28
にんじん	せなけいこ/さく・え	20
ねないこだれだ	せなけいこ/さく・え	11
ねむたいねむたい	やぎゆうげんいちろう/さく	11
ねんね	さえぐさひろこ/文, 細川佳/デザイン	22
のりものいっぱい	柳原良平/作・絵	23
バスがきました	三浦太郎/さく え	24
はらぺこあおむし	エリック・カール/作, もりひさし/訳	29
バルンくん	こもりまこと/さく	24
パンツのはきかた	岸田今日子/さく, 佐野洋子/え	12
ひこうき	パイロン・パートン/さく え, こじまもる/やく	24
ぴよーん	まつおかたつひで/作・絵	17
ぶーぶーじどうしゃ	山本忠敬/さく	25
へっこぶっとたれた	こがようこ/構成・文, 降矢なな/絵	17
べんぎんたいそう	齋藤禎/さく	17
ぼぼんびぼんぼん	松竹いね子/文, ささめやゆき/絵	18
ぼんちんばん	柿木原政広/作	5
ぼんぼんポコポコ	長谷川義史/作絵	5
まり	谷川俊太郎/文, 広瀬弦/絵	5
まるくておいしいよ	こにしえいこ/さく	20
まるてんいろてん	中辻悦子/さく	18
みんなうんち	五味太郎/さく	12
もうおきるかな?	まつのまさこ/ぶん, やぶうちまさゆき/え	22
もけらもけら	山下洋輔/ぶん, 元永定正/え, 中辻悦子/構成	6
もこもこもこ	谷川俊太郎/作, 元永定正/絵	6
よ・だ・れ	小風さち/文, 及川賢治/絵	12
りんごがころん	中川ひろたか/文, 奥田高文/写真	6
わんわんにゃーにゃー	長新太/さく え, 和田誠/しあげ	22

赤ちゃんと楽しみたい絵本ガイド 令和2年度改訂版

令和3年3月31日発行

発行 広島県読書推進運動協議会

編集 広島県立図書館

〒730-0052

広島市中区千田町三丁目7-47 広島県情報プラザ内

ホームページ <http://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>

電話 082-241-4973

ファクシミリ 082-241-9799

電子メール hplibnet@hplibra.pref.hiroshima.jp